

23東生販連発第157号  
平成23年8月8日

義援金・見舞金をお寄せいただきました全国の  
酪農生産者、関係役職員、一般の方々へ

東北生乳販売農業協同組合連合会  
代表理事会長 但野 忠 義



謹啓

この度の東北地方太平洋沖地震による東北地域酪農家支援のため、全国の酪農生産者を始め、関係役職員、一般の方々よりお寄せいただきました心温まる義援金・見舞金を8月3日（社）中央酪農会議において贈呈を賜りましたので、ご報告申し上げますとともに、衷心より御礼と感謝を申し上げます。

去る3月11日の東日本大震災により、東北地方太平洋側（岩手県・宮城県・福島県）を中心に地震による住居・牛舎の倒壊、沿岸部においては津波による流失など甚大な被害が発生しました。

地震発生直後は、ライフライン・輸送インフラの寸断、乳業工場の操業停止等により、3月分だけで13千tを超える生乳の廃棄を余儀なくされました。

また、人災とも言える東京電力福島第一原子力発電所の放射能漏れ事故により、福島県内での生乳の出荷制限が指示されるなど、更に被害が拡大し、その経済的損失は膨大なものとなりました。

現在は、警戒区域、計画的避難区域等を除く地域は、生乳の放射性物質検査に基づき、安全が確認されたことから出荷制限は解除されておりますが、未だ原発事故の収束が見えないこともあり、風評被害等、その影響は隣接県まで及んでおります。

そのため現在も、福島県を始め隣接する宮城県、岩手県、山形県においては、定期的な生乳の放射性物質の検査を実施し、安全・安心を確認した上で出荷しておりますので、引き続き東北生乳のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

今回、皆様からお寄せいただきました大切な想いは、東北地域の3月の原発事故分を除いた廃棄生乳と地震や津波により牛舎等が倒壊・流失した酪農家及び原発事故により現在も酪農が再開できていない酪農家を対象に今後の生活の一助と早期の復旧・復興のために役立てていただくことで支給いたしました。本当にありがとうございました。

東北地域の生産者を代表して、書面をもって御礼といたします。

謹白